

平成30年度 印教研理科研究部総会議案書

平成30年5月8日(火)

於：成田小学校 大アリーナ

総会会次第

- I 開会の言葉
- II 研究部長挨拶
- III 議長選出
 1. 議長挨拶
 2. 書記任命
- IV 議事
 1. 報告事項
 - (1) 平成29年度事業報告
 - ①年間事業
 - ②印旛地区教育研究会理科研究部総会
 - ③自由研究指導法研修会
 - ④印旛地区教育研究会理科研究部研究集会
 - ⑤実技研修会(各部会)
 - ⑥理科作品展
 - ⑦理研会報
 - ⑧印教研理科研究部ホームページ運営
 - (2) 県教育研究集会参加報告
 - ①小学校：5部会
 - ②中学校：1部会
 - (3) 平成29年度決算報告
 2. 議決事項
 - (1) 平成29年度事業報告及び決算報告の承認の件について
 - (2) 平成30年度事業計画案
 - ①年間事業計画(案)
 - ②印旛地区教育研究会理科研究部総会
 - ③自由研究指導法研修
 - ④第二回役員会・第一回研究員集会実施計画(案)
 - ⑤印旛地区教育研究会理科研究部研究集会開催計画(案)
 - ⑥理科作品展実施計画(案)
 - ⑦理研会報発行計画(案)
 - (3) 平成30年度予算案
 - (4) 平成30年度事業計画及び予算案の承認の件について
 3. 千葉県教育研究会理科教育部会研究発表大会について
 4. 役員改選について
 5. その他
- V 議長解任
 1. 書記解任
 2. 議長挨拶
- VI 新旧役員挨拶
- VII 連絡事項
- VIII 閉会の言葉

IV 議事

1. 報告事項

(1) 平成29年度事業報告

①年間事業

実施日	行事名及び内容	会場
29.4.12(水)	第一回役員会(決算報告, 事業計画, 理研会報発行計画など)	成田小学校
5.9(火)	印旛地区教育研究会理科研究部総会 自由研究指導法研修 ①自由研究指導の仕方 ②自由研究の着眼	成田小学校
6.9(金)	第二回役員会 ①印教研集会について ②理科作品展について ③部会実技研について 第一回研究員集会 ①研究主題の確認, 研究計画書の検討 ②研究発表内容の確認	印旛教育会館
夏季休業中	理科実技研修会(部会毎に実施)	部会ごと
8.23(水)	印旛地区教育研究会理科研究部集会	(小)成田国際高校 (中)成田小学校
9.15(金)	印旛郡市理科作品展(搬入・審査・展示会場準備)	印旛教育会館
9.16(土)	印旛郡市理科作品展(一般公開)	印旛教育会館
9.19(火)	印旛郡市理科作品展(搬出) 午後	印旛教育会館
30.2.9(金)	第三回役員会 ①事業報告について ②決算報告について ③次年度事業計画について 第二回研究員集会 ①教研参加報告 ②次年度研究計画の検討(各部会長より説明, 提案)	成田小学校

②印旛地区教育研究会理科研究部 総会

日時	平成29年5月9日(火)	
会場	成田市立成田小学校	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業並びに決算報告 平成29年度事業案並びに予算案提案 	
役割分担	司会	5部会: 五井 信夫 先生(四街道北中学校)
	議長	4部会: 久保田 宣孝 先生(八街南中学校)
	記録	3部会: 川本 晃博 先生(大山口中学校)

③自由研究指導法研修

日時	平成29年5月9日(火) 16:00~16:30
会場	成田市立成田小学校
講師	伊東 由美 先生(成田市立玉造中学校)
内容	①自由研究指導法 ②実践方法
参加	・印旛地区教育研究会理科研究部総会参加者

④印旛地区教育研究会理科研究部研究集会

ア 開催期日 平成29年8月23日(火)

イ 開催場所 小学校部会：成田国際高等学校 文化ホール
中学校部会：成田市立成田小学校 アリーナ会議室

ウ 助言者 小学校：千葉県教育庁北総教育事務所 指導主事 山下 博樹 先生
中学校：千葉県立東部図書館 図書館連携課長 大三川 弘 先生

エ 日程など

		小学校会場 (成田国際高等学校)
9:00~9:20	受付	文化ホール入口
9:30~9:40	開会行事	開会の言葉(挨拶含む)
9:40 ~9:50	準備	【司会】 小田 宗高 先生 (白井市立池の上小学校 教頭)
		【記録】 3部会 芝入 彩香 先生(牧の原小) 廣納 大典 先生(西の原小)
9:50 ~10:35	第1提案	2部会 自ら問題を解決する力を伸ばす理科学習 ~4QSを用いた板図の設定に関わる指導を通して~
10:40 ~11:25	第2提案	3部会 実感を伴った理解を図るための 理科学習のあり方 ~具体的な体験活動を重視した学習~
11:30 ~12:15	第3提案	4部会 より主体的な学習活動を目指す 指導法の工夫
12:15~13:25	昼食・休憩	
13:25 ~14:10	第4提案	5部会 問題解決の能力を育成する指導の工夫 ~結論を「より確かなもの」として とらえ直す活動を取り入れる~
14:10~14:25	休憩	
14:25 ~15:10	第5提案	1部会 科学的な見方や考え方を養うことの できる理科教育の在り方 ~諸感覚を意識した学習指導を通して~
15:15 ~16:15	助言指導	千葉県教育庁北総教育事務所 指導主事 山下 博樹 先生
16:20~16:30	閉会行事	閉会の言葉(挨拶含む)

提案25分, 質疑応答20分

		中学校会場 (成田小学校)
9:00~9:20	受付	アリーナ会議室前
9:30~9:40	開会行事	開会の言葉(挨拶含む)
9:40 ~9:50	準備	【司会】 小野 哲 先生 (富里市立富里北中学校 教諭)
		【記録】 5部会 林 裕美 先生(旭中) 藤 昌幸 先生(四街道中)
9:50 ~10:35	第1提案	4部会 より主体的な学習活動を目指す 指導法の工夫 ~考察での主体性を引き出す支援を通して~
10:40 ~11:25	第2提案	5部会 科学的な見方や考え方を育てる学習指導 ~考察による言語活動の充実~
11:30 ~12:15	第3提案	1部会 進んで問題解決をする力が育つ 理科学習 ~進化の授業を通じた能動的な学習~
12:15~13:25	昼食・休憩	
13:25 ~14:10	第4提案	2部会 自ら問題を解決する力を伸ばす理科学習 (4QSを用いた板図の設定に関わる指導を通して)
14:10~14:25	休憩	
14:25 ~15:10	第5提案	3部会 目的意識をもたせるための指導の工夫 ~導入を意識した授業を通して~
15:15 ~16:15	助言指導	千葉県立東部図書館 図書館連携課長 大三川 弘 先生
16:20~16:30	閉会行事	閉会の言葉(挨拶含む)

提案25分, 質疑応答20分

⑤実技研修会（各部会）

ア 実施期日等

	実施期日	開催場所	参加人数
1部会	平成29年8月 1日 (火)	佐倉市立佐倉中学校	34名
2部会	平成29年7月26日 (水)	成田市立下総みどり学園	25名
3部会	平成29年7月27日 (木)	印西市立牧の原小学校	36名
4部会	平成29年7月28日 (金)	八街市立八街中学校	14名
5部会	平成29年8月 7日 (月)	千葉市科学館, 朝日ブリテック船橋工場	20名

イ 内容及び成果（実技研修会）

1部会	<p>東邦大学理学部長 理学博士 高橋正先生を講師として、第一部会理科研究部では、佐倉市教育委員会と共催により、佐倉市立佐倉中学校にて夏季実技研修会を行った。研修のテーマは、次の3つであった。</p> <p>(1)イオンと電子:電気を運ぶもの (2)電池:エネルギーの変換装置 (3)電気分解:エネルギーを注ぎ込むことで起こる化学反応</p> <p>テーマ(1)では、原子の構造とイオンについて学び、水溶液の電気伝導性の実験で様々な水溶液を使用し行った。テーマ(2)では、様々な実験方法により電池を作る実験を行った。テーマ(3)では、電気分解の実験を行った。</p> <p>今回の研修では、小学校理科の応用として、中学校理科の実験を基本に研修を行った。少し専門性の高い実験でもあり、教職員の理科への興味関心や意欲向上が高まるような内容であった。今後の理科学習に向けて、子どもたちの興味・関心を高められるようなヒントもあり、大変有意義な研修会となった。また、今年度から、佐倉市教育委員会主催の実技研修会と共催としたことにより、より専門性の高い研修会を行うことができた。</p>
2部会	<p>吉岡秀樹先生（現「子どもと自然学会」理事、工学院大学非常勤講師、千葉大学非常勤講師）を講師にお招きして、「理科の授業で大事にしたいこと」をテーマに実技研修を実施した。</p> <p>子どもたちの素朴な概念を科学概念へ昇華させる取り組みとして、①蒸気と湯気と水蒸気の違い ②食塩も液体になる ③日陰の植物も光合成しているの？ ④ガラス・石にも弾性はある？ の4つの実験を演示していただいた。</p> <p>理科教師であることを楽しむこと。「わかる」「面白い」「できる」「かしこくなる」をキーワードに教材を開発すること。そして何よりも、子どもたちの「何のために理科を勉強するの？」に対する自分の考えを教師自身が用意することの大切さを先生の実践から学ばせていただいた。たいへん有意義な研修となった。</p>
3部会	<p>実際に授業に活用または、参考となる内容として、2つの研修を行った。</p> <p>①「からだのつくりとはたらき」講師：印西市立平賀小学校教頭 門脇英貴 先生 小学校6年生の「からだのつくりとはたらき」の授業において、聴診器や灯油ポンプを使っての授業展開についての説明及び、実際に灯油ポンプを用いて心臓のはたらきに挑戦した。参加者は、心臓のはたらきに負けまいと、必死にチャレンジしていた。小学校だけでなく、中学校でも活用できる内容であり、子どもたちに興味・関心をもたせながら活動的・体験的に授業が進められるため、これから授業を進めていく上でおいに参考になった。</p> <p>②「ラビリンス・ボックス」講師 白井市立七次台中学校 教諭 森下康彦 先生 中学校1年生の「光の反射」を活用したラビリンス・ボックスは身近な材料で手軽に作成できるものであり、授業の導入やまとめ等で活用できる内容であった。どの参加者も黙々と取り組み、完成したときには感動の声があがっていた。子どもたちの興味を引くとともに、「不思議だ」「なんでだろう」と思考に対する刺激も与えられる内容であった。また、中学校だけでなく、小学校の理科クラブでも活用できそう、との声もあった。</p>
4部会	<p>有限会社タキグチの協力でケニス株式会社から講師を招き「楽しくなければ理科ではない」というテーマで以下の研修を行った。</p> <p>①プログラミング教材にチャレンジ ・mBotを動かしてみよう。 ・スクラッチにチャレンジ</p> <p>②最新理科機器を使って ・回路カード実験器・骨と筋肉の動き実験器 ・最新理科 ICT 機器(顕微鏡カメラ HIS、ラボイスク)</p> <p>小学校では、新学習指導要領により新たにプログラミングの学習が取り入れられるということで、先生方からの要望も強く、今回の研修でとりあげた。難しいイメージのあったプログラミングが楽しく学べる教材で、参加した先生方もタブレットを片手に、夢中になってロボットを操作していた。新しい時代に向けて、ICTの活用につながる有意義な研修となった。</p>
5部会	<p>午前中は、千葉市科学館(きぼーる)にて、プラネタリウムの視聴と館内展示を見学した。さらに、ものづくり活動として「簡易天体早見表」や「よく飛ぶグライダー」などを作る講習を受けた。小学校の校外学習場所としての可能性や科学工夫作品のヒントとなる展示や実験教室等を数多く知ることができた。</p> <p>午後は朝日ブリテック船橋工場に研修会場を移して、巨大新聞印刷機の角の様子を見学した。最新の印刷技術の仕組みを実習を通して知ることができた。また、様々な作業場における効率面や安全面を配慮した環境や作業過程についても見学することができ、実験過程はもちろん理科室環境の整備等についても大変参考となった。</p>

⑥理科作品展

ア 開催日程など

実施月日		内容	会場
印旛郡	平成29年9月15日(金)	作品搬入・審査 郡市一般公開 来館者数 29年度 623名 (28年度 613名) (23年度 345名) 27年度 538名 (22年度 410名) 26年度 536名 (21年度 450名) 25年度 482名 (20年度 384名) 24年度 524名 (19年度 357名)	印旛教育会館
	平成29年9月16日(土)		
	平成29年9月19日(火)	作品搬出	

イ 出品状況

部会	工夫作品		論文		標本		合計
	小	中	小	中	小	中	
1部会(佐倉市・酒々井町)	89	6	221	99	32	7	454
2部会(成田市・富里市・栄町)	94	22	289	102	29	11	547
3部会(印西市・白井市)	86	36	229	180	32	21	584
4部会(八街市)	48	5	121	38	27	6	245
5部会(四街道市)	54	14	190	88	19	9	374
合計	371	83	1050	507	139	54	2204

ウ 郡入賞作品数

部門	校種他	小学校	中学校	合計	備考
科学工夫作品		26	10	36	県展に出品
科学論文		20	11	31	
標本		6	4	10	

エ 県展準備

県	平成29年9月26日(火)	*県展搬入(搬入担当部会…5部会) *総受付(受付担当部会…1部会)	千葉県総合教育センター (科学技術棟)
	平成29年10月14日(土) ~15日(日)	一般公開(県)	千葉県総合教育センター (大ホール)
	平成29年10月16日(月)	*県展搬出(搬出担当部会…5部会)	

オ 県展での審査結果(平成29年度)

【科学工夫作品の部】	
千葉県教育長賞	四街道市立吉岡小学校 6年 「いつでもどこでも頭だけの勉強部屋」
優良賞	酒々井町立酒々井小学校 3年 「水圧の力で手をつくる」
	成田市立向台小学校 6年 「ドローンの製作」
奨励賞	成田市立成田小学校 6年 「もぐらたたきゲームVer. 2」
佳作	印西市立西の原小学校 3年 「この一瞬を見のがすな！」
	成田市立公津の杜中学校 1年 「併詰に使えるプルトップオープナー」
	印西市立西の原中学校 2年 「撥水性の傘」
【科学論文の部】	
優秀賞	四街道市立和良比小学校 1年 「いちばんながくまわるこまはどれだ！」
	四街道市立旭小学校 3年 「おいしい野菜を作ろう！チッ素・リン・カリの量や与え方を 野菜の種類ごとに工夫して」
	印西市立木刈小学校 6年 「気圧の研究 partⅢ～気圧の力を便利な力として活用したい！ ～植物と気圧・洗浄効果と気圧」
優良賞	印西市立木刈小学校 2年 「リモコンのけんきゅう」
	成田市立玉造中学校 2年 「スクールバッグの持ち方と身体への負担について」
	成田市立吾妻中学校 2年 「タイにおける前上顎骨・歯骨と全長の関係～魚の歯からみえる世界 part 4～」
奨励賞	四街道市立中央小学校 2年 「かいわれ大こんを水がいの水分で育ててみよう！」
佳作	四街道市立山梨小学校 4年 「なっ豆の糸の研究」
	成田市立玉造中学校 2年 「カイワレダイコンの重力屈性」
	成田市立玉造中学校 2年 「水をこぼさないふたの開け方」
科学技術賞	印西市立木刈小学校 6年 「気圧の研究 partⅢ～気圧の力を便利な力として活用したい！ ～植物と気圧・洗浄効果と気圧」
	成田市立玉造中学校 2年 「水をこぼさないふたの開け方」
【教職員自作教具の部】	
優秀賞	富里市立富里南中学校 中村一正先生 「電流回路・水流モデル」
優良賞	富里市立富里南中学校 菊池啓爾先生 「星座早見傘『かさのほしみさん』」

⑦理研会報

号 数	主な内容	発行日
386	研究部長あいさつ・役員一覧・事業計画	平成29年 5月
387	第一回研究員集会・自由研究の出品について	平成29年 7月
388	印教研集会報告	平成29年 9月
389	理科作品展報告	平成29年11月
390	県教研を終えて	平成29年12月
391	29年度を終えて	平成30年 3月

⑧印教研理科研究部ホームページ運営

ア ホームページの概要

ホームページでは、最近の情報を載せていきます。今後も内容の充実に向けた運営をしていきます。

ホームページアドレス：<http://rikainba.com>

イ 各コンテンツの更新

コンテンツ	更新状況
トップページ	・トピックス掲載 ・理科作品展作品カード様式添付
印教研	・印教研各部会提案資料の掲載
理研会報	・創刊号からの理研会報の掲載（PDF形式） ・本年度理研会報の掲載
先生ページ	・長期研修生の「研究報告書」、自由研究指導法資料掲載 パスワード： welovescience
メール	・理科作品展作品一覧表、理研会報の原稿受付などに活用しております。 今後も広くご活用願います。

※この他、理研会報等の原稿受付はメールアドレス：rikainba@yahoo.co.jpです。

(2) 県教育研究集会参加報告

- ① 小学校：5部会
- ② 中学校：1部会

(3) 平成29年度決算報告

①収入の部

項 目	本年度(29年度)予算	本年度(29年度)決算	比 較
印旛教育研究会事務局より	488,000	488,000	0

②支出の部

項 目	本年度(29年度)予算	本年度(29年度)決算	比 較
会議費(会場費・運営費)	15,000	15,163	-163
印教研集会運営費(諸準備費)	10,000	10,040	-40
理科作品展運営費(賞状・盾・副賞)	240,000	244,017	-4,017
研究推進費(各部会活動補助・30,000円×5)	150,000	15,000	0
理研会報制作費・研究部HP管理費・会議等資料費	7,000	6,967	33
通信費(郵送料・切手購入費)	55,000	50,813	4,187
予備費	11,000	11,000	0
合 計	488,000	488,000	0

2. 議決事項

(1) 平成29年度事業報告及び決算報告承認に関する件

(2) 平成30年度事業計画案

①年間事業計画 (案)

実施日	行事名及び内容	会場
30.4.11 (水)	第一回役員会 (決算報告, 事業計画, 理研会報発行計画など)	成田小学校
5. 8 (火)	印旛地区教育研究会理科研究部総会 自由研究指導法研修 ①自由研究指導の仕方 ②自由研究の着眼	成田小学校
6. 8 (金)	第二回役員会 ①印教研集会について ②理科作品展について ③部会実技研について 第一回研究員集会 ①研究主題の確認, 研究計画書の検討 ②研究発表内容の確認	印旛教育会館
夏季休業中	理科実技研修会 (部会毎に実施)	部会ごと
8.28 (水)	印旛地区教育研究会理科研究部集会	(小) 成田国際高校 (中) 成田小学校
9.14 (金)	印旛郡市理科作品展 (搬入・審査・展示会場準備)	印旛教育会館
9.15 (土)	印旛郡市理科作品展 (一般公開)	印旛教育会館
9.18 (火)	印旛郡市理科作品展 (搬出) 午後	印旛教育会館
30.2.8 (金)	第三回役員会 ①事業報告について ②決算報告について ③次年度事業計画について ----- 第二回研究員集会 ①教研参加報告 ②次年度研究計画の検討 (各部会長より説明, 提案)	成田小学校

②印旛地区教育研究会理科研究部総会

日時	平成30年5月8日 (火)	
会場	成田小学校	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業並びに決算報告 ・平成30年度事業案並びに予算案提案 	
役割分担	司会	1部会: 伊藤 洋祐 先生 (佐倉市立白井南中学校)
	議長	5部会: 半田 耕之 先生 (四街道市立四街道中学校)
	記録	4部会: 浅野 祐一 先生 (八街市立八街中央中学校)

③自由研究指導法研修

日時	平成30年5月8日 (火) 16:00~16:30
会場	成田市立成田小学校
講師	坂本 文則 先生 (四街道市立栗山小学校)
内容	①自由研究指導法 ②実践方法 *内容は講師によって変更の場合あり
参加	・印旛地区教育研究会理科研究部総会参加者

④第二回役員会・第一回研究員集会 実施計画 (案)

平成30年6月8日(金)	内容	参加者
14:00~14:45	第二回役員会	理科学研究部理事
15:00~16:30	第一回研究員集会	理科学研究部理事・各部会研究員

⑤印旛地区教育研究会理科学研究部研究集会 開催計画 (案)

日時		平成30年8月28日(火)	
担当	種	小学校部会	中学校部会
	会場	千葉県立成田国際高等学校 文化ホール(座席設置数192席)	成田市立成田小学校 アリーナ会議室
講師	千葉県教育庁北総教育事務所 指導主事 山下 博樹 先生	印西市教育委員会学務課 副参事 加藤 知巳 先生	
司会	先生	先生	
記録	4部会(2名)	1部会(2名)	
「印旛の教育」原稿執筆			
内容		①部会研究発表	②講師指導

※小学校、中学校ともに長期研修生の実践発表はなし。

⑥理科作品展実施計画 (案)

ア 理科作品展募集要項

・募集要項及び出品カードは、印教研理科研究部 HP より、8月下旬からダウンロード可能。

※様式が変わるため、前年度の出品カード等を使わない。

イ 開催日程、場所

実施月日		内容	会場
印旛郡	平成30年9月14日(金)	作品搬入・審査	印旛教育会館
	平成30年9月15日(土)	郡市一般公開	
	平成30年9月18日(火)	作品搬出	

ウ 県展準備

実施月日		内容	会場
県	平成30年9月25日(火)	*県展搬入(搬入担当部会…1部会) *総受付(受付担当部会…2部会)	千葉県総合教育センター (科学技術棟)
	平成30年 10月13日(土)~14日(日)	*県一般公開	千葉県総合教育センター (大ホール)
	平成30年10月15日(月)	*県展搬出(搬出担当部会…1部会)	

*千葉県理科作品展実施要項は、千葉県総合教育センターHPから各校が直接ダウンロードして入手する方式となっております。(7月に全校郵送でも送付される予定です。)

⑦理研会報発行計画（案）

号 数	主な内容	発行日
392	研究部長あいさつ・役員一覧・事業計画	平成30年 5月
393	第1回研究員集会・自由研究について	平成30年 6月
394	印教研集会報告	平成30年 9月
395	理科作品展報告	平成30年10月
396	県教研を終えて	平成30年11月
397	30年度を終えて	平成31年 3月

(3) 平成30年度予算案

※本年度より、本研究部の予算案の支出の部の項目を、印教研事務局に提出する予算項目に統一する。ただし、用途が明確となるよう、細目にて補足するものとする。（29年度第3回役員会で承認済み）

①収入の部

項 目	前年度(29年度)予算	本年度(30年度)予算	比 較
印旛教育研究会事務局より	488,000	488,000	0

②支出の部

項目	細目	本年度(29年度)予算	次年度(30年度)予算	比較
謝金	講師謝礼等	40,000	40,000	0
資料費	事務用品費	38,000	38,000	0
	ホームページ管理費	4,000	4,000	0
通信運搬費	郵送料, 切手代	45,000	40,000	-5000
	はがき・レターパック代	10,000	10,000	0
その他	理科作品展賞状・盾・副賞	190,000	195,000	5000
	研究推進費(各部会補助, 30,000円×5)	150,000	150,000	0
	資料作成費	11,000	11,000	0
合計		488,000	488,000	0

3 千葉県教育研究会理科教育部会 研究発表大会について

(1) 東総大会

日 程 平成30年11月16日(金)
場 所 匝瑳市立八日市場小学校, 匝瑳市立八日市場第二中学校

(2) 千葉県教育研究会理科教育部会研究発表大会開催予定等

回	年 度	開催支部
50回	平成25年度	浦安(会場:浦安市立入船南小学校, 浦安市立入船中学校)
51回	平成26年度	習志野(会場:習志野市美和小学校・東習志野小学校, 習志野市立第四中学校)
52回	平成27年度	夷隅(会場:大多喜町立大多喜小学校, 大多喜町立大多喜中学校)
53回	平成28年度	松戸(会場:松戸市立殿平賀小学校, 松戸市立小金中学校)
54回	平成29年度	安房(会場:鴨川市立東条小学校, 鴨川市立鴨川中学校)
55回	平成30年度	東総(会場:匝瑳市立八日市場小学校, 匝瑳市立八日市場第二中学校)
56回	平成31年度	柏(会場:)

(3) 安房大会係分担について

日 時	平成30年11月16日(金)		
会 場	東総大会(会場:匝瑳市立八日市場小学校, 匝瑳市立八日市場第二中学校)		
領域など 司会・発表	領 域	氏 名	所属学校名
分科会司会者	小学校分科会(物理) 中学校分科会(化学)	先生 ()	先生 ()
分科会指導者	指導者分担なし	()	()
研究発表者	小学校部会	北川 太一 先生(栄町立安食小学校)	
	中学校部会	林 宏樹 先生(成田市立成田中学校)	

これまでの担当者一覧(敬称略)

	小学校	中学校	司会者・指導者
58年	[生物] 鳩ヶ谷(小林小)	[物理] 加藤(佐倉中)	
59年	[宇宙] 大野(実住小)	[化学] 上林(佐倉中)	
60年	[物理] 川原(八木原小)	[生物] 河邊(白井中)	
61年	[化学] 平野(白井三小)	[地学] 林田(八街中)	
62年	[生物] 湯浅(向台小)	[物理] 東城(井野中)	
63年	[地学] 沼田(栗山小)	[化学] 青柳(佐倉中)	
元年	[物理] 吉野(大室台小)	[生物] 片岡(千代田中)	
2年	[化学] 貝塚(四街道小)	[地学] 菅原(成田西中)	
3年	[生物] 荒井(山王小)	[物理] 阿波寄(富里中)	
4年	[宇宙] 飯田(三里塚小)	[化学] 松田(印西中)	
5年	[物理] 梅里(根郷小)	[生物] 古谷(白井中)	
6年	[化学] 佐久間(佐倉小)	[地学] 成毛(井野中)	指導[地学] 小川美喜子(成教委)
7年	[環境] 梅里(根郷小)	*関東ブロック	
8年	[生物] 岩崎(平成小)	[物理] 森下(木刈中)	指導[生物環境] 石田政光(印南小)
9年	[宇宙] 坂本(四街道小)	[化学] 麻生(成田中)	司会 深山民夫(山王小) 下睡龍正(和良比小)
10年	[物理] 森(実住小)	[生物] 山本(白井南中)	指導[地球宇宙] 大野尊史(千代田小)
11年	[化学] 小島(酒々井小)	[地学] 関(栄中)	司会[化学] 角井一郎(四街道西中)
12年	[生物環境] 吉野(小倉台小)	[物理] 佐久間(四街道西中)	指導[生物] 古谷薫(佐倉東中)
13年	[地球宇宙] 水崎(大山口小)	[化学] 齊藤(西の原中)	
14年	[物理] 飯田和成(四街道南小)	[生物] 小栗雅彦(西の原中)	司会[生物環境] 河邊久男(南山小)
15年	[化学] 東孝明(成田小)	[地学] 井上功太郎(佐倉東)	指導[小物理] 飯田和宏(玉造小)
16年	[生物] 和地滋巳(加良部小)	[物理] 伊東由美(印旛中)	指導[小化学] 岩井睦(公津小)
17年	[物理] 宮本正敏(佐倉小)	[化学] 竹内一浩(志津中)	指導[小地学] 林和之(小竹小)
18年	[化学] 山下博樹(四和小)	[生物] 伊藤保(成田西中)	指導[中物理] 阿波寄守(玉造中)
19年	[地球宇宙] 島海雅弘(八街北小)	[地学] 小野哲(四街道北中)	司会[小物理] 小山成志(王子台小)
20年	第55回全国中学校理科教育部会/第25回関東甲信越理科教育部会千葉大会		
21年	[物理] 長見秀樹(白井小)	[化学] 大三川弘(白井西中)	指導[化学] 江村司(成田東小)
22年	千葉県教育研究会理科教育部会研究発表大会(印旛大会)		
23年	[化学] 中村光宏(下志津小)	[生物] 熊澤宏明(八街中)	司会[小・地学] 貝塚健太郎(大日小) 指導[中・地学] 角井一郎(酒々井中)
24年	第19回関東甲信越地区小学校理科教育研究大会・第49回千葉県教育研究会理科教育部会研究発表大会船橋大会		
25年	[地球宇宙] 門脇英貴(原山小)	[地学] 小甲太郎(志津中)	指導[小・生物環境] 岩崎正彦(豊住小) 司会[中・生物] 山本正之(栄東中)
26年	[生物環境] 高橋和宏(根田小)	[物理] 楠宏海(四街道北中)	指導[小・化学] 阿部猛(大日小)

			司会〔中・化学〕大三川弘（西志津小）
27年	〔物理〕 小山淑郎（西志津小）	〔生物〕 松本直樹（千代田中）	指導〔小・地球宇宙〕 松井豊（八生小） 指導〔中・物理〕 三村宏治（上志津中）
28年	〔化学〕 立田宜宏（佐倉小）	〔地学〕 高谷昌則（富里北中）	司会〔小・物理〕 山下博樹（南小） 指導〔中・生物〕 井上功太郎（公津の杜小）
29年	〔地球宇宙〕 郷田敬一（酒々井小）	提案なし	指導〔小・生物環境〕 梅里之朗（富里第一小） 司会〔中・地学〕 谷野研（白井南中）
30年			

4 役員改選について

(1) 役員選考委員会について

(2) 役員選考委員会より

*役員は30年度第一回役員会にて理事の承認を得て決定し、総会で報告を行う。

役員	氏名	所属学校名
研究部長		
研究副部長		

*研究部長は、幹事を指名し委嘱することができる。幹事の指名は定期総会にて行う。

役名	氏名	所属学校名
事務局幹事		

Ⅶ 諸連絡

平成30年度 係分担について

行事名	期 日	係	部会	所属	氏名	
定期総会	5月8日(火)	司 会	1部会	白井南中	伊藤 洋祐	
		議 長	5部会	四街道中	半田 耕之	
		書 記	4部会	八街中央中	浅野 裕一	
		実技研報告	書面にて報告			
		県教研報告	小	5部会		
		中	1部会			
第1回部会理科主任会	()月()日()曜日 場所()					
印教研集会	8月28日(火)	記 録 「印旛の教育」原稿執筆	小	4部会		
			中	1部会		
		受付・弁当配付係	小会場	2部会		
			中会場	3部会		
部会理科作品展審査 部会理科作品展一 般公開	◎部会理科作品展審査日 : ()月()日()曜日 場所()					
◎部会理科作品展一般公開日 : ()月()日()曜日 場所()						
印旛郡市 理科作品展	搬入	9月14日(金)	印旛教育会館への搬入担当者	全部会		
	搬出	9月18日(火)	印旛教育会館への搬出担当者 ※搬出・搬入は同一が望ましい			
県理科作品展		9月25日(火)	千葉県総合教育センターへの 搬入	1部会		
		9月25日(火)	千葉県総合教育センターでの 搬入時受付補助	2部会		
		10月15日 (月)	千葉県総合教育センターから の搬出	1部会	搬入者に同じ	
					搬入者に同じ	
					搬入者に同じ	
	搬入者に同じ					

平成30年度 印教研理科研究部 理事等一覧

〔印教研理科研究部〕(平成30年度)

部長		副部長			
所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名

〔各部会〕 (平成30年度)

部会	部長		副部長					
部会	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名		
1	佐倉東小	宮本 正教	根郷中	及川 亨	上志津小	水嶋 智巳		
2	橋賀台小	高橋 和宏	公津の杜小	須藤 寛	成田中	酒井 理成	美郷台小	戸刺 悟
3	平賀小	門脇 英貴	西の原小	米野 淳	印西中	若狭 昌臣		
4	八街中	羽田野 淳	八街北中	岡村 春美	交進小	門 淳史		
5	山梨小	飯田 和成	山梨小	戸田 大輔	四街道中	半田 耕之		

〔理事一覧〕(平成30年度)

部会	市町	学校名	氏名
1部会	佐倉市	佐倉小	佐久間 保男
		千代田小	大三川 弘
		上志津小	水嶋 智巳
		井野小	吉野 信之
		佐倉東小	宮本 正教
		志津中	三村 宏治
		井野中	片岡 勤
2部会	成田市	新山小	小泉 三智雄
		津富浦小	長見 秀樹
		吾妻小	麻生 辰浩
		橋賀台小	高橋 和宏
	富里市	根本名小	岡 清志
		浩養小	石橋 健男
		富里第一小	梅里 之朗
		富里中	古谷 成司
		富里南中	菊池 啓爾
		富里北中	小野 哲

部会	市町	学校名	氏名
3部会	印西市	本基第二小	小田 宗高
		小林北小	小島 実
		六合小	増田 賢一
		平賀小	門脇 英貴
		西の原小	齊藤 實和
		船穂中	山本 正之
		小林中	片瀬 実
	白井市	木刈中	泉水 真由美
		清水口小	和地 滋巳
		大山口中	佐々木 猛
4部会	八街市	八街北小	水野 修
		八街中央中	大坊 孝志
		八街南中	佐久間 良久
		八街南中	熊澤 宏明
		八街中	羽田野 淳
5部会	四街道市	栗山小	坂本 文則
		山梨小	飯田 和成
		四街道小	下畦 能正
		吉岡小	中村 光宏
		四街道北中	五井 信夫

〔行政・管外等在籍者一覧〕(平成30年度)

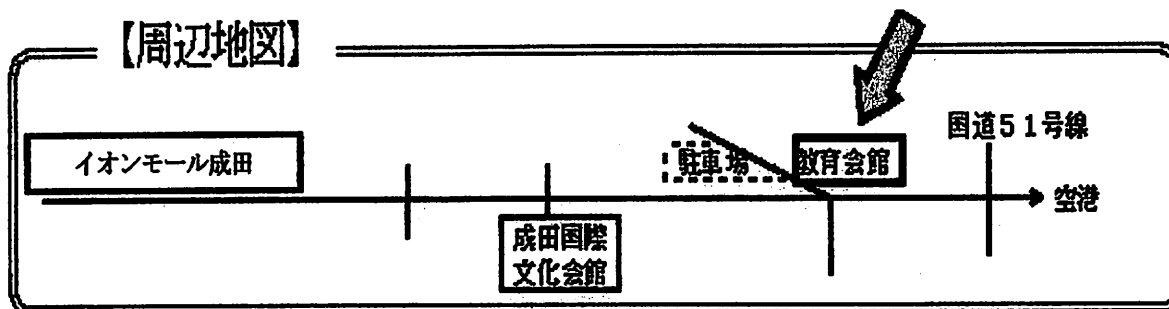
	所属	氏名	備考
千葉県教育委員会	千葉県教育庁北総教育事務所 管理主事	鳥海 雅弘 様	理事
	千葉県教育庁北総教育事務所 指導主事	山下 博樹 様	理事
	千葉県立東部図書館 図書館連携課長	渡貫 健 様	理事
	千葉県立四街道北高校 校長	東城 孝 様	理事
	千葉県立千葉中学校 副校長	井上 功太郎 様	理事
市町教育委員会	佐倉市教育委員会学務課 指導主事	澤田 法義 様	
	佐倉市教育委員会指導課 指導主事	松原 和弘 様	
	成田市教育委員会 教育指導課 指導主事	長岡 奈緒美 様	理事
	八街市教育委員会 学校教育課 課長	西貝 喜彦 様	
	印西市教育センター 所長	石川 真樹子 様	
	印西市教育委員会学務課 副参事	加藤 知巳 様	
	印西市教育委員会指導課 指導主事	鈴木 勝美 様	
	富里市教育委員会学校教育課 指導主事	東 孝明 様	理事
その他(管外)	大網白里市立増穂北小学校 校長	中山 昌洋 様	

理科作品展のお知らせ

印旛地区教育研究会理科研究部 第66回 印旛郡市理科作品展（郡展）

日時：平成30年9月15日（土） 9:00～16:00
（入場は15:30まで）

場所：印旛教育会館2階大ホール 成田市寺台字竹林246-4

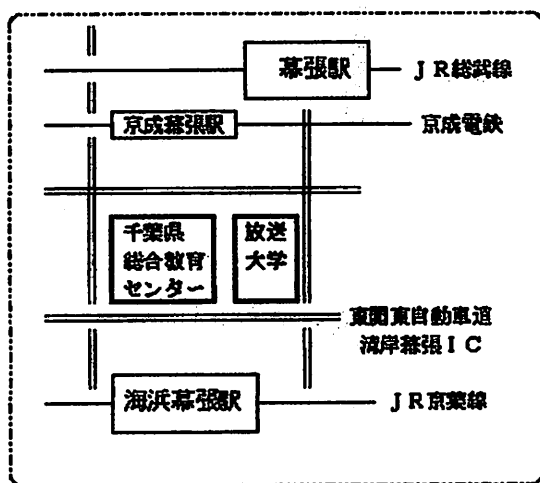


印旛郡市内の各地区で選ばれた児童生徒の理科作品が展示されるとともに、郡展での審査結果が発表されます。なお、印旛郡市理科作品展で、金賞を受賞した作品は、「千葉県児童生徒・教職員科学作品展（10月13,14日開催予定）」（県展）に出品されます。ただし、「郡金賞」と表示された入賞作品及び「標本」は県展には出品されません。

平成30年度 千葉県児童生徒・教職員科学作品展（県展）

日時 平成30年10月13日（土） 9:30～16:00
14日（日） 9:30～16:00

場所 千葉県総合教育センター 大ホール
千葉市美浜区若葉2-13 TEL 043-276-1204（代表）・1184（直通）



- JR総武線:幕張駅から徒歩約18分
- JR京葉線:海浜幕張駅から徒歩約10分
- 京成線:京成幕張駅から徒歩約18分

- *印旛郡市理科作品展で「金賞」を受賞した作品が県展に出品されます。（ただし、「郡金賞」と表示されたもの、および標本は出品されませんのでご注意ください）
- *県内各地区の金賞受賞作品が展示（科学論文と科学工夫作品のみ）されるとともに、県展の各賞審査結果が発表されます。

平成30年5月8日

理科研修会資料

四街道市立栗山小学校
坂本 文則

◇自由研究指導の進め方

1) 児童生徒の意欲を喚起する

◎日常の学習や生活の中で、「なぜ」「おもしろい」「やってみたい」を見つけさせる。

- ・小学校では3年～6年のすべての学年で、教科書に「自由研究」に関する内容が盛り込まれている。しかし、夏休みに入ってから研究では取り組みに限りがあるため、早い時期に実施できるとよい。

2) 進め方をとらえさせ、見通しを持たせる。

- ・ガイダンスの位置づけ
- ・計画書の作成
- ・「自由研究の進め方」に関する解説

これがとても大切。
計画書ができると「やるきが」
一気に高まります。

3) 保護者との連携

- ・学年だより、「夏休みのしおり」等の活用
- ・保護者会や個別面談の話題に

◇各部門のポイント

<科学論文>

1 題名 (テーマ)	6 考察
2 動機 (仮説も含めて)	7 研究のまとめ (結論)
3 観察・実験の目的	8 反省
4 方法	9 参考文献
5 結果	

1 題名 (テーマ)

何を明らかにした研究なのかがはっきりわかること。

○「・・・にはきまりがあるのか」、「・・・がよくとぶ条件」

×「・・・の研究」

2 動機

なぜこの研究をしようと思ったのか、読み手に対して伝える重要な部分。

3 目的

何を目的として行う観察・実験なのか

4 方法

- ・箇条書きで簡潔に書くとよい。
- ・読んだ人が同じ実験ができるように、条件や材料の量なども書くとよい。
- ・観察・実験の装置は図や写真があるとよい。

5 結果

- ・図、表、グラフを使って分かりやすくまとめる。
- ・証拠となる実物や写真があるとよい。

6 考察

論文の一番重要な部分。結果から分かったことを正確に詳しく書く。

7 研究のまとめ

観察・実験を通して何が言えるのかをまとめ、結論を書く。

8 反省

反省や感想、今後の課題を書く。(単なる感想ではない)

9 参考文献

研究を進めるにあたって使った本の題名、筆者、出版社、発行年を書く。

<科学工夫作品>

○丈夫であること

何回動作させても壊れない。運搬に耐えられる。

○仕組みが明快であること

部品や電池の取り換えが誰でもできる。

○独創性があること

仕組みは文献を参考にしてよい。形状や動き、組み合わせを工夫するとよい。

×市販のキットを組み立てるだけのものはダメ

×キャラクターは著作権の関係でダメ

<標本>

○腐らないようにきちんと処理すること。

○植物標本は根まで必要。

○採集場所は必須